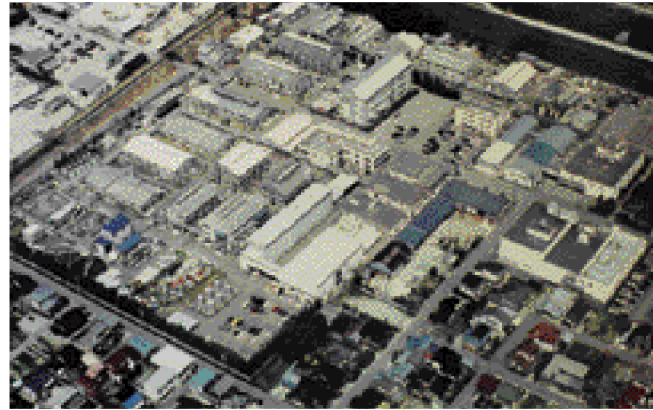


会員企業の中から最近ご入会いただいた2つの企業をご紹介します。

金剛化学株式会社

富山市日俣
医薬品原薬の製造販売
化学薬品、中間体の製造販売
その他製造受託合成
<http://www.kongo-chemical.co.jp/>



Q1. 研究協力会への入会動機

当社は、「くすりの富山」という恵まれた環境の中で、これまで日本全国、ヨーロッパ、アメリカなどへ良質の原薬を供給してまいりました。現在、この目まぐるしく変化する薬業界において、今後更なる発展を成し遂げるためには、「情報」「技術」「人材」などの確保が必要となってきます。

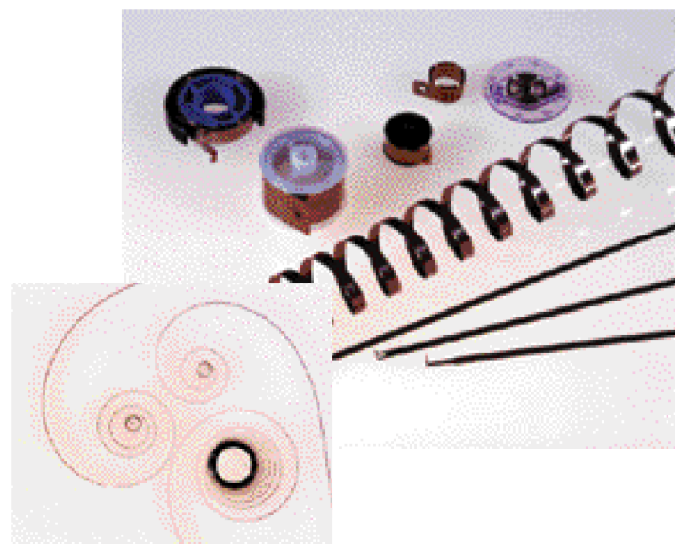
そのためには、その源である「大学」とのパイプを太くし、情報交換などを通じ、富山県の産業界、薬業界の発展に寄与したいと考えております。

Q2. 今後研究協力会へ望むこと

「くすり」を作るためには、「作るための理論」「作る手段」「作る手順」などのほか、工学的な「機械」「現象」そして、「環境」も必要と考えています。それらの専門分野を併せ持つ富山県立大学には、地元富山の産業の「情報の収集基地」、「情報の発信基地」として、また、当社のような中小企業の良きアドバイザー的な役割を果たしながら、「優秀な人材」の供給源としての役割に大いに期待しております。

速水発条株式会社

高岡市伏木国府
ぜんまいばね専門メーカー
ニーズに応じたあらゆる種類のぜんまいばね
コンスタントスプリングの製造
<http://www.hayamizu-hatsujo.co.jp/>



Q1. 研究協力会への入会動機

当社は、昭和21年の創業以来一貫してぜんまいばね専門メーカーとして事業を行ってまいりました。その間、社会が要請する高品質かつ低価格の製品を製造・供給することに努力し、相応の評価も頂いてまいりました。しかしながら、技術革新が急速に進展する中、現在の実績・評価に甘んじることなく、より高度なニーズにも対応でき得る企業体質を醸成すべく、貴会のご協力を得ながら努力していきたいと考えています。

Q2. 今後研究協力会へ望むこと

ぜんまいばね専門メーカーとして蓄積してきた技術およびノウハウに加え、貴大学の知的資源を活用させて頂くことにより、更なる技術革新と、それに伴う新たな事業展開をも志向していきたいと考えています。

「平成17年度富山県立大学研究協力会総会」が開催されました

日時 平成17年5月12日(木)
場所 カナルパークホテル富山
2F「鳳凰東の間」
参加者 98企業 110名 大学関係者 12名
(議案)
① 議案第1号
役員変更(案)について
→新理事として、高桑幸一氏、森政雄氏の理事
就任を承認
② 議案第2号
平成16年度事業報告及び収支決算(案)について
→原案を承認
③ 議案第3号
平成17年度事業計画及び収支予算(案)について
→原案を承認



平成17年度 第1回地域連携公開セミナー「スタートアップ研究成果報告会」が開催されました

6月8日、10日の2日間にわたり、県立大学の先生が萌芽的(生まれたばかりの)研究成果を産業界の皆様へ発表する「スタートアップ研究成果報告会」が開催されました。

報告会では、分野別に延べ45名の先生が成果を発表し、研究協力会の会員の皆様を中心として、延べ45名、27企業の方々にお集まりいただきました。会員企業等による審査により、3名の先生に奨励賞を、1名の先生に特別賞を授与しました。



テーマ別研究会の活動について

富山県立大学教員と企業人が出会う気軽な『技術談義』の場として、産学官共同開発プロジェクトである「テーマ別研究会」が発足しました。

今年3月には、「ヒューマンインタフェースロボット開発」「健康・機能性食品開発」の2つの研究会が発足し、9月には、新たに「流れの可視化(内部空間対流の可視化)」の研究会が立ち上がりました。

それぞれの研究会で、セミナー等を実施し、多くの会員の方にご参加をいただいております。



第2回産学連携マッチング会議が開催されました

9月9日、県立大学大講義室において、第2回産学連携マッチング会議が開催されました。会員企業、大学関係者を含め、101名の参加をいただきました。

研究協力会の取組みや、県立大学からのシーズの紹介などが行われたほか、参加企業の皆様からの産学連携の取組発表も行われました。会議後、交流会が行われ、県立大学の先生方との情報交換を行いました。

